

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
296	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Transition from alcohol to other drugs among adolescents in Taiwan: the first drinking context matters.</p> <p>台湾の若者における飲酒から他の薬物への移行：初回飲酒の状況が影響する</p>	
執筆者	
Chen CY, Tang GM, Huang SL, Lee CM, Lew-Ting CY, Hsiao CK, Chen DR, Chen WJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Stud Alcohol Drugs. 2008 May;69(3):378-87.	
キーワード	
飲酒、薬物使用、思春期、台湾、飲酒行動	
要旨	
<p><b>目的：</b> 本研究では、若者の飲酒と喫煙の開始、ビンロウの実、その他の違法薬物の使用が、台湾という未成年者の飲酒に寛容な社会的な規範を持つ社会における、彼らの初めての飲酒状況により違うかを検討する。</p> <p><b>方法：</b> 2004年に、全国を代表する、学校に通う15-18歳の若者11943名より情報を得た。情報社会人口学的特性、問題行動、アルコールおよびタバコ、ビンロウの実、および他の違法薬物や向精神薬物の経験、そして、それぞれの薬物を初めて使用した年齢やそのときの状況、平均頻度、使用期間を、無記名の質問票により得た。</p> <p><b>結果：</b> はじめての飲酒経験が、娯楽施設や友人の家で行われた者では習慣飲酒者になりやすかった。社会経済的背景と問題行動に関する因子の調整後、娯楽施設での初回飲酒経験は、早期の違法薬物の開始と関連していた (ハザード比[hazard ratio, HR]=2.5 95%信頼区間[confidence interval, CI]1.5-4.0)。ビンロウの実の早期使用開始とのHRは1.5(95% CI: 1.1-2.1)。</p> <p><b>結論：</b> 若者の飲酒行動と、アルコールからビンロウの実や他の違法薬物への移行は、初回飲酒の状況によりゆるやかに変わるかもしれない。アルコールや他の違法薬物についてハイリスクな者を識別しうる特徴とできるかもしれない。教育・予防のプログラムにも活用可能である。</p>	